

第三セクター等経営健全化方針に基づく取組状況（令和2年度）

1 第三セクター等の概要

法人名：株式会社色麻町産業開発公社
代表者名：代表取締役社長 高橋 光明
所在地：宮城県加美郡色麻町四竈字東原1-12
設立年月日：平成6年7月26日
資本金：14,200千円【色麻町の出資額（出資割合）10,000千円（70.4%）】
業務内容：味彩館「ふるさと」をはじめとする町内食堂施設等の管理運営、農産物及び加工品等の製造・販売等

2 経営健全化方針を策定した理由

債務超過額が発生したため、令和2年12月7日に策定したもの。

3 財政的リスクの状況

項目	平成30年度	令和元年度	令和2年度
債務超過額	9,163千円	11,206千円	19,769千円

4 主な取組状況

【法人自らによる経営健全化のための具体的な対応】

（1）各部門経営体制等の強化

味彩館「ふるさと」では月替わりのおすすめメニューを充実させ、折り込みチラシによる広告宣伝を行った。また、隣接するパークゴルフ場利用者向けの麺類等の軽食メニューも加えながら営業体制の強化を図った。

かっぱのゆ館内の「かっぱ茶屋」では、新型コロナウイルス感染症の影響による入館者減少が続くなか、コスト削減を図りつつ日替わり弁当やワンコインランチ等を行うことで入館者の満足度向上へとつなげた。さらに、個室利用者向けの特典付きメニューに天ぷら等の季節の食材を用いることで内容を充実させ、粗利の5%アップを意識した改善に取り組んだ。

（2）えごま商品の安定供給に係る生産体制の強化

えごまの生産性安定を図るため、週1回の圃場巡回を行い、生産者への助言等を行うことで質

の高いえごまの生産に取り組んだ。令和2年度においては、品質及び油の含有率も高く、製品加工を安定的に行うことができた。

(3) ふるさと納税における返礼品の強化

えごま油の新サイズの展開（2g×31袋3パック）を行い、返礼品数の増加を図った。現在は、えごま油のさらなるサイズ展開のほか、えごま油粕を肥料に栽培した米「えごま米（仮称）」の開発に着手している。

【地方公共団体による財政的なリスクへの対処のための対応】

当該法人の経営状況、職員の雇用及び勤務条件等の状況、事業の公共性・公益性等について調査し、公社の運営改善に取り組んだ。

5 法人の財務状況

貸借対照表から	項目	金額（千円）		
		平成30年度	令和元年度	令和2年度
	資産総額	36,927	25,036	35,807
	（うち現預金）	13,824	4,625	7,612
	（うち売上債権）	4,081	2,145	2,392
	（うち棚卸資産）	6,696	8,786	16,089
	負債総額	46,089	36,243	55,576
	（うち当該地方公共団体からの借入金）	-	-	-
	純資産額	▲ 9,163	▲ 11,206	▲ 19,769

損益計算書から	項目	金額（千円）		
		平成30年度	令和元年度	令和2年度
	経常収益	199,140	192,838	151,769
	経常費用	200,315	194,927	160,146
	経常損益	22	▲ 1,859	▲ 8,378
	経常外損益	-	-	-
	当期純損益	▲ 163	▲ 2,044	▲ 8,563